

第1回 標準委員会 研究炉専門部会議事録

1. 日時 平成12年9月27日(水) 10:00～12:15
2. 場所 エネルギー総合工学研究所 会議室
3. 出席者(敬称略)
(出席委員) 中澤(部会長)、丹沢(幹事)、小林 久、西郷、最首、清水、鈴木、鶴田、西村、早川、廣田、古田、松本、宮坂(14名)
(代理出席委員) 古平(海江田代理, TGO4主査)、川端(小林捷代理)(2名)
(欠席委員) 柴田、(1名)
(常時参加者) 坂本、村山(2名)
(傍聴者) 安納(1名)
(事務局) 太田、市園

4. 配布資料

- RTC1-1 標準委員会の活動状況について
- RTC1-2 委員名簿
- RTC1-3 標準委員会規定
- RTC1-4 標準委員会運営内規
- RTC1-5 標準委員会専門部会運営通則
- RTC1-6 標準委員会規程・運営内規・専門部会運営通則の解説
- RTC1-7 標準委員会活動の基本方針
- RTC1-8 標準作成手引き
- RTC1-9 標準原案の審議に関するガイドライン
- RTC1-10 標準委員会委員会関連欧文名称及び略称
- RTC1-11 研究炉専門部会の活動方針(案)
- RTC1-12 研究炉廃止措置分科会(仮称)委員候補(案)
- RTC1-13 放射線遮蔽設計法の標準化に関する分科会設置について
- RTC1-14 標準制定までの経過

参考資料

- RTC1参考-1 標準委員会等の開催予定と実績

5. 議事内容

事務局より、出席者の確認の結果、17名の委員中14名の委員と2名の代理委員の出席があり、決議に必要な委員数(12名以上)を満足している旨の報告があった。

(1) 経緯の説明

事務局よりRTC1-1により、これまでの経緯の説明を行った。

(2) 部会委員の紹介

委員がそれぞれ自己紹介をおこなった。また、事務局より傍聴者が紹介された。関連して、事務局より各委員に対し委員名簿の追記・修正を連絡して欲しい旨の要請が出された。

(3) 標準委員会規約類

事務局よりRTC1-3, -4, -5, -6により、標準委員会規約類の説明を行った。

(4) 部会長互選と部会役員の指名

- a) 事務局からの部会長選任方法の説明の後、出席委員全員(代理含む)による無記名投票が行われ、以下の結果となり、中澤委員が部会長に選出された。

投票結果; 中澤 委員得票 15票

海江田 委員 // 1票

- b) 中澤部会長指名により、海江田委員が副部会長に選出された(海江田委員欠席のため、後日、本人の意向も確認し、事務局より各委員に連絡することとした)。

- c) 部会長、古平代理委員の協議により、丹沢委員が幹事に選出された。

- d) 中澤部会長より、自身がIECの国内委員長をしており、国際規格作りに参加していることもあり、この標準作成活動には関係が深い。事務局から説明があった標準化の趣旨にしたがって進めていこう。また、これまで学会の中でも標準について議論をしてきた。そこで感じたことを、この場で発言していただきたい、旨の挨拶があった。

(5) 標準委員会活動の基本方針

事務局よりRTC1-7により標準委員会活動の基本方針の説明を行った。

(6) 研究炉専門部会活動方針（案）

古平委員、村山氏よりRTC1-11により研究炉専門部会活動方針の説明を行った。以下のような審議がおこなわれた。

- ・標準案件のアンケート調査対象は → タスクグループメンバーと標準委員会委員とが対象で合計40名程度である
- ・協調と区分された案件についての協調相手は → 標準委員会内の他の専門部会や機械学会、電気学会等である。
- ・「協調」と区分された案件の標準作成にあたっては協調相手の活動状況などに関する情報交換を密に行う必要がある。また、「状況」及び「順次」に区分された案件の取扱いについては、本専門部会で議論し、決定する。

(7) 研究炉廃止措置分科会の設置

古平委員よりRTC1-12により研究炉廃止措置分科会委員候補についての説明があった。以下の審議、決定が行われた。

- a) 研究炉専門部会活動方針（案）に示された研究炉廃止措置分科会を設置することに対する決議が行われ、全員一致で承認した。
- b) 西村委員より、東海炉を対象に商業炉の廃止措置検討を進めており、国の考え方等アドバイスできることもあるので、電力業種として1名委員を推薦したい。また、早川委員より、原電に協力して東海炉の廃止措置検討を行っており、貢献できるので委員を1名推薦したい。
旨の提案があった。
これらを含め、各委員より、分科会の追加委員候補を事務局に提出することとした。
- c) 分科会委員の投票に係わる一連の日程を以下の通り決定した。
9月27日（水）タスクグループ推薦候補の提示（本日会議）
10月3日（火）専門部会委員からの新たな推薦の締切り
4日（水）事務局からの投票用紙送付
11日（水）投票締切り
12日（木）委員の決定、専門部会委員への通知
- d) 分科会委員数については、 15 ± 5 名を目安とし、これから外れる委員候補数となった場合には、再度事務局より専門部会役員に相談する。

(8) 放射線遮蔽設計関係

坂本氏（原研）よりRTC1-13により、放射線遮蔽設計法の標準化に関する分科会設置についての説明があった。標準としての出力形式（データ集の形、フロッピーディスクで計算ルーチンを提供することも考慮）等についての質疑がおこなわれた。以下の事項を決定した。

- a) 放射線遮蔽設計法の標準化に関する分科会の設置について決議が行われ、設置を承認した。
- b) 分科会委員候補の人選について、タスクグループで検討し、委員候補（案）を事務局に提出する。事務局は書面にて各専門委員に委員候補（案）を提示する。以下の手順については、研究炉廃止措置分科会と同様な手続きにより行なう。

(9) その他

- a) 本専門部会の下にタスクグループを設置する提案が中澤部会長より行われ、古平氏より、そのメンバーとして岡本氏（東京大学）、鈴木氏（サイクル機構）、丹沢氏（東芝）、古平氏、坂本氏、村山氏（以上原研）の名が紹介された。タスクグループの設置とその主査を古平氏とすることを全員一致で承認した。
- b) 古平氏、坂本氏、村山氏を常時参加者とする提案があり、全員一致で承認した。

6. 次回開催予定

第2回専門部会を、標準委員会の日程を考慮し、12月8日（金）10時より開催することとした。

以上